

# 地域環境計画研究室

教員名：渡辺貴史

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

地域環境計画研究室が対象としているのは、都市や農村です。環境問題の発生に大きく関わっているのは、私たち人間です。人間の大半が住んでいる都市や農村をいかに計画するかは、環境問題の解決にとって重要な課題といえます。環境問題を解決するために現在の都市や農村では、新たに「モノ」を作ることよりも、今ある「モノ」を活かすまちづくりが求められています。

地域環境計画研究室では、そうした今ある「モノ」のうち、環境保全機能の発揮することで環境問題の解決に役立っていると考えられる**公園、森林、農地などの「緑地」**や**「ランドスケープ(景観)」**を対象に、「**今あるものを活かした都市-農村づくりの方法論**」を作り上げるために必要な研究に、教員・学生共々、取り組んでおります。

具体的には、(1)**緑地やランドスケープの量や特徴**を明らかにする、(2)緑地やランドスケープが**環境の保全に対してどれだけ役立っているかを評価**する、(3)緑地やランドスケープの**保全・再生に関わっている人々の取り組みの現状と問題点**を明らかにすることに取り組んでいます。

たとえば、(1)に関しては、写真1のように現地調査に出かけ、現場にてデータを採集し、研究室に持ち帰り、コンピューターへのデータ入力と分析により、緑地・ランドスケープの量や特徴を明らかにしています。(2)の景観保全機能に関しては、写真2のような人々に画像を提示して良い景観を評価してもらう室内実験を行い、緑地・ランドスケープの機能を測定しています。また研究とともに実践を重視する本研究室では、長崎県内のまちづくりの現場に行き、写真3にみられるような地元の人との話し合い等を通じて、まちづくりのお手伝いをすることもあります。



写真1：現地調査



写真2：実験風景



写真3：地元の方との協議

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

多くは、一般企業(流通、メーカー、新聞社等)に就職しております。なかには、公務員(県、市、消防署等)になった学生もおります。